

ウトナイ湖通信



No.255

2025 年8月号

夏を迎え、緑が深まるウトナイ湖。暑い日でも、木々の葉が風になびく音は涼しさを感じさせてくれます。北の大地の短いグリーンシーズンもそろそろ折り返しです。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

8月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

8月10日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:不要。直接当センターへ。

救護室バックヤードツアー

8月23日(土)11:00~11:40

普段一般公開をしていない傷病救護のバックヤードを当センターの獣医師がご案内します。

- 定員:12名
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:事前申込制。8/1(金)~8/22(金)まで電話で当センターへ。

市民ギャラリー



令和7年度 野鳥絵画展

会期:8月8日(金)午後~9月9日(火)午前(予定) 展示:北海道
内容:道内の児童や生徒の皆さんが描いた素敵な野鳥の絵画が並びます。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライング・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



キバシリ

身体検査中



体重 7 g

身体検査中



初診では明らかな
外傷は認めなかった

7月1日



リリース

原因：建物への衝突

市内にある建物に衝突し飛べずにいたところを保護される。

初診では明らかな外傷は認められなかったが、一過性の脳しんとうを起こした可能性もあり、しばらく保温しながら経過観察とした。

1時間ほどで容体は安定し、十分な飛翔力も確認。

同日中にリリースとなる。

キバシリ（スズメ目 キバシリ科）

全長14cm。雌雄同色。北海道では留鳥で、平地から山地の針葉樹林や、針広混交林などに生息しています。木の幹を根元かららせん状に上っていき、やがて次の木の根元に飛び移ってまた上るといった探餌行動を繰り返します。

樹皮のすき間に隠れた昆虫やクモを、細く曲がったくちばしでつかみとります。

トピックス



ボランティア体験講座

自然を調べる仲間を募集中

当センターのボランティア活動の一環である「自然情報収集調査」の体験講座を開催しました。参加者は、現役のボランティアとともに観察路を歩きながら、野鳥のさえずりや見られた花の位置などをマップに記録しました。年2回開催しており、次回は11月を予定しています。



スズメバチに刺されないためには？

北海道立衛生研究所の伊東拓也氏を講師にお迎えし、セミナーを開催しました。スズメバチの生態や刺されないための対策、刺された際の対処法などについてわかりやすくお話いただき、質疑応答では、参加者から多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。



ボランティアコーナー

6/29に開催した「ボランティア体験講座」にサポートとして参加された ほんや さんにインタビューしました。

「ボランティア体験講座」に参加しようと思った理由はなんですか？

昨年私がボランティア体験講座を受講した際、様々な動植物のお話を教えていただき、それが楽しくてボランティア活動を始めたので、今回受講された方々にも楽しんでいただきたい！少しでもそのお手伝いがしたい！と思い、参加しました。

参加してみた感想を教えてください。

ツツドリやカッコウ等、様々な野鳥のさえずりが聞こえたり、ホザキシモツケ等の可愛い花も見られたので、受講された方々も楽しめたのではないかと思います。

印象に残ったことがあれば教えてください。

色々な種類の野鳥のさえずりを聞くことができたのですが、その中でもセンダイムシクイの『チヨチヨビー』の鳴き声が何度も聞こえてきたので、覚えることができました。

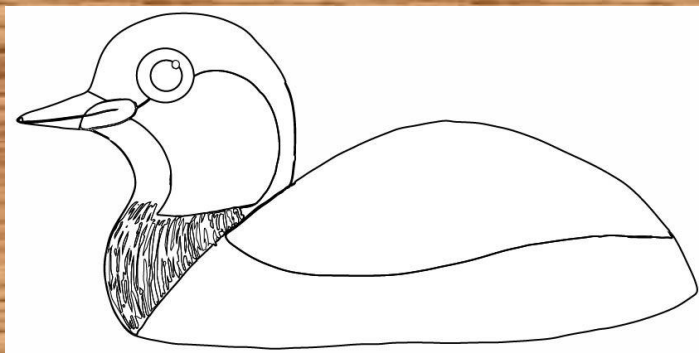


受付の準備をする
ほんや さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー【ウトナイ湖・野鳥めぐりえ】

ウトナイ湖に夏に渡ってくるハトよりも小さい水鳥
「カイツブリ」をぬってみよう！

潜って魚などを捕まえます。湖から「キリリリ…」と、けたたましく鳴く声が聞こえます。



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X





【ミヤマカラスアゲハ】
 大きさ 7~10cmほどの
 チョウ。翅の緑や紺色(色
 は角度による)の光沢が
 美しい。オニユリの花に
 来ていることがある。



【クジャクチョウ】
 大きさ5cm ほどのチョウで、4つの目玉模様が特徴。成虫の状態越冬し、夏と秋に2回羽化する。木道で見かける。



【オニユリ】
オレンジ色の大きな花をつける。バリアフリー観察路の木道の脇で見られ、蜜を目当てにチョウの仲間などがやってくる。



【ミゾソバ】
下部は白色、上部は紅色の小さな花が咲く。ウトナイ湖では木道の脇の湿った場所によく見かける。

レンジャーのおすすめ自然情報

8月のウトナイ湖では、鳥たちが子育てを終え、さえずりを耳にする機会は少なくなりますが、湿地の植物の開花を楽しむことができます。また、開花した花の蜜を求めてに訪れるチョウの仲間や、花に集まる昆虫類を狙うトンボの仲間などの観察も楽しめる時期です。北海道の短い夏をお楽しみください。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

自然観察路ガイドマップ【夏】

